2017 年 2 月 1 日

各　　位

ＳＢＳ即配サポート株式会社

産業廃棄物中間処理プラントを刷新、能力拡大

－廃棄物を再利用性の高い資源へ、ゼロ・エミッションをさらに推進－

ＳＢＳ即配サポート株式会社（社長：下山俊介、本社：東京都江東区）は、環境事業部横浜事業所（横浜市金沢区）の産業廃棄物中間処理プラントを刷新、２月１日から本格稼働を開始しましたのでお知らせします。

◆

当社環境事業部は、ＳＢＳグループにおける「静脈物流」のプロフェッショナル集団として、循環型社会の構築に貢献しています。自社工場の横浜事業所は、産業廃棄物の中間処理、再生原料化から最終処分施設搬入までの一連のサービスをご提供しております。

このたび当社は、廃棄物処理能力の拡大、再生原料化率の向上を目的に横浜事業所の産業廃棄物中間処理プラントを約 11 年ぶりに刷新しました。昨年 10 月、旧プラントを停止して入替工事を開始、１月に横浜市の許可を受け、２月１日から本格稼働を開始しました。

今回の刷新の目玉のひとつである高性能破砕機は、インバータ型の二軸破砕機で従来より処理能力が３倍に拡大。硬質物から軟質物まで広範囲な素材の廃棄物が処理可能になり、また破砕粒度の縮小化で選別処理や最終処理の効率化が見込まれます。

もうひとつは、新たに導入した近赤外線センサーで廃棄物を自動選別する光学式選別機。プラスチック、繊維などを材質別に選別できます。例えば、プラスチックでは PET、PP、PE、PS といった材質別に選別可能となり、再生原料化率が高まります。

大量の処理に対応する二軸破砕機

物性（混合比）に応じて判別する光学式選別機

新プラントは、一日当たりの受入れ量が 60ｔと従来の約２倍に拡大、増加する流通系廃棄物にも十分対応できます。再生原料化を高めたことで廃棄物の処理工場から再生原料の製造工場に移行し、地球環境に配慮した 21 世紀型リサイクル事業を推進いたします。

新プラントの動画が http://www.sbs-sokuhaisupport.co.jp/sksp/plant_yokohama/にてご覧いただけます。

以　上

■ご参考

＜ＳＢＳ即配サポート株式会社概要＞

本　　社：東京都江東区新砂１丁目５番29号
代 表 者：代表取締役社長　下山 俊介
設　　立：1993（平成５）年３月
親 会 社：ＳＢＳホールディングス株式会社（持株比率100％）
資 本 金：１億円　　（2016年12月現在）
従業員数：528名　　（2016年12月末現在）
拠 点 数：22拠点（本社、即配事業部６、パートナー事業部８、環境事業部２、ＫＲ事業部５（うち海外１か所））
事業内容：ゼロ･エミッションを目指し産業廃棄物を中間処理する環境事業、企業間の小口荷物を一都三県で集荷・配達する即配事業、特定企業の専属便・スポット便および倉庫を運営するパートナー事業、店舗用什器製品に関する製造および物流事業（ＫＲ事業部）
ＵＲＬ：企業サイト　http://www.sbs-sokuhaisupport.co.jp/
即配便サイト　http://www.sbs-sokuhai.com/

＜環境事業部 横浜事業所概要＞

所在地：〒236-0003　神奈川県横浜市金沢区幸浦２－２－５
許可番号：横浜市5620014605
処理方法・能力：破砕421.20t/日、圧縮141.00t/日、溶融1.00t/日、切断10.22t/日
産業廃棄物の種類：①廃プラスチック類　②金属くず　③ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず　④紙くず　⑤木くず　⑥繊維くず　⑦かれき類

＜環境事業部 東雲事業所概要＞

所在地：〒135-0062　東京都江東区東雲２－10－31
許可番号：東京都1320014605
処理方法・能力：破砕4.48t/日、粉砕（木くず）4.72ｔ/日、圧縮梱包117.00ｔ/日
産業廃棄物の種類：①廃プラスチック類、②金属くず、③ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、④紙くず、⑤木くず、⑥繊維くず、⑦がれき類

■本件に関するお問い合わせ先

ＳＢＳホールディングス株式会社
ＩＲ・広報部　TEL：03-3829-2240／e-mail：contact11@sbs-group.co.jp

※当資料に掲載されている情報は、発表日現在の情報です。その後予告なしに変更されることがございますので、あらかじめご了承ください。